

武良霜伯先生選評



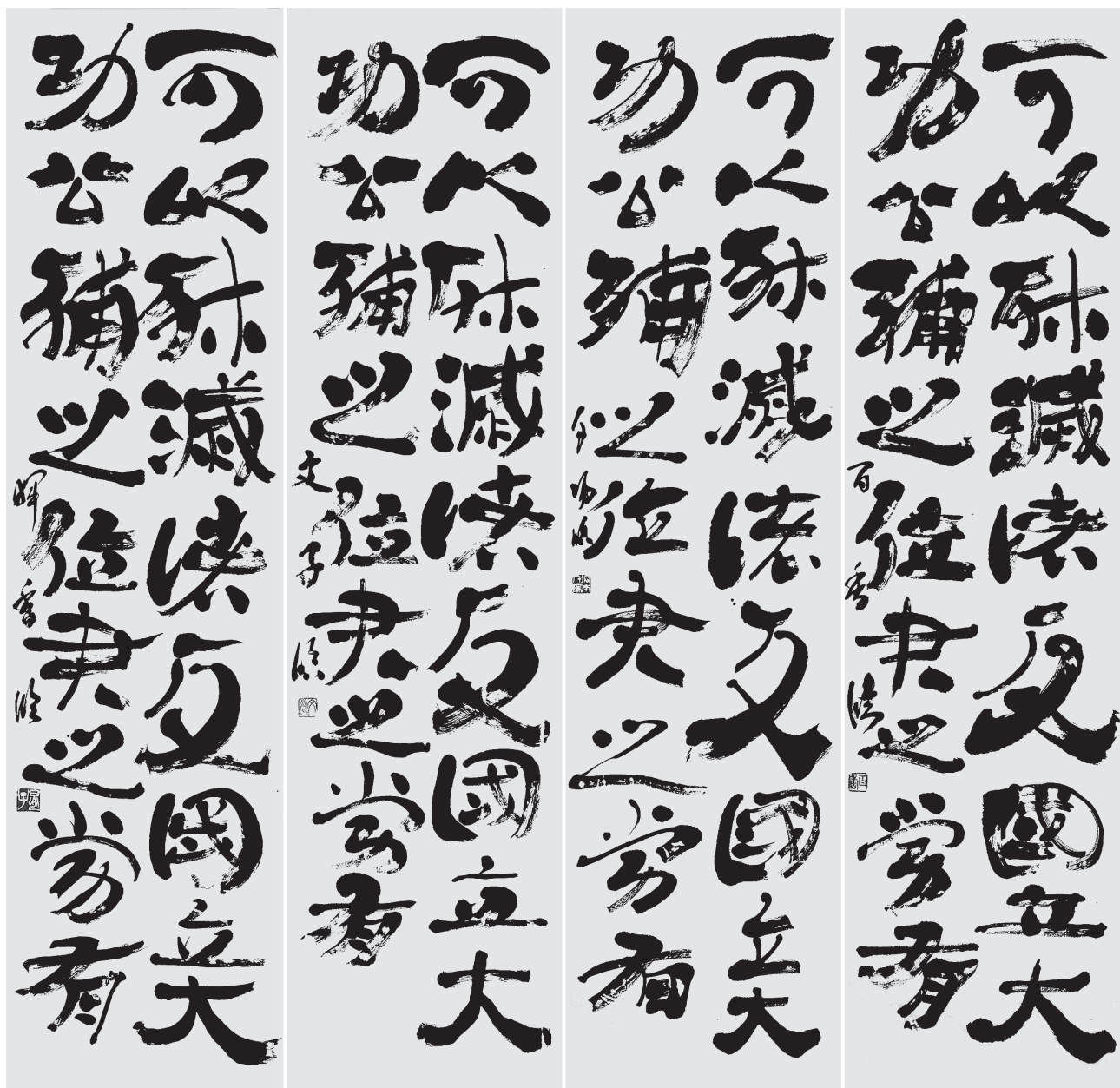
鈴木暉月 推選
明快な線が素直に暢びていて、堂々とした風格や自信が紙面に現れています。緩急抑揚の変化も見事です。章法も素晴らしく、上級者の腕の確かさが光る。

山口千睡花 推選
文字の大小、潤渾等、要所を決めて最後まで書き上げていて、好感が持てます。紙と筆の相性も良く、墨が画仙紙に良く馴染んでいます。落款も含め楽しい作品です。

田尻白華 推選
始筆から最後の落款まで気持ちと筆が切れずに書き込んで行った意欲的な作品。筆の割れや破筆も効果的で、左右の書かれていない余白が明るく見事な作です。

稲橋美和子 推選
高い落筆から、変化の激しい動きと線の多彩さに圧倒されました。その迫力は、濃墨を駆使しながらグングンと筆を進め、新しい可能性を感じました。

赤富士北祭先生選評



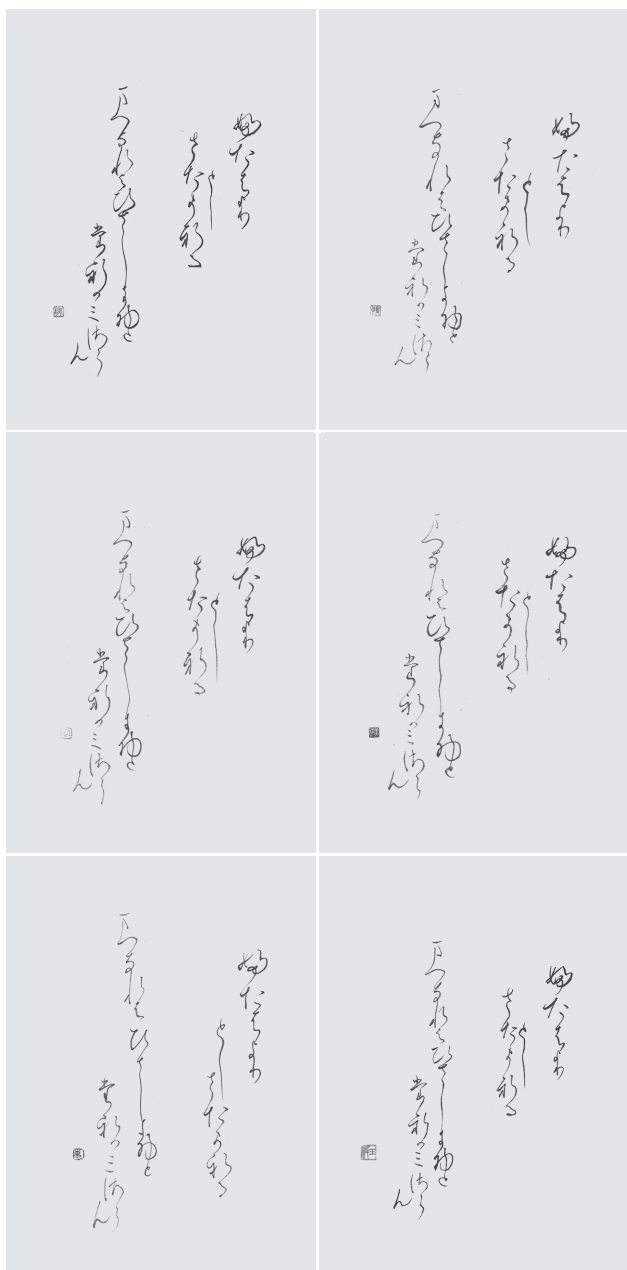
大竹 百香 推選
筆のタッチを利かせながら、筆鋒を紙面に食い込ませ、多彩な線を生む。その響きあい、美しく交響曲のような線に厚みがあり、修練の賜であろう。

坂本 千陽 推選
書き出しをややおさえて、中盤から気持ちの高まりを表現した。そして終盤は程よく余韻がある。羊毛筆を駆使し、線に牙えがあり、さわやかな涼風のようなものである。

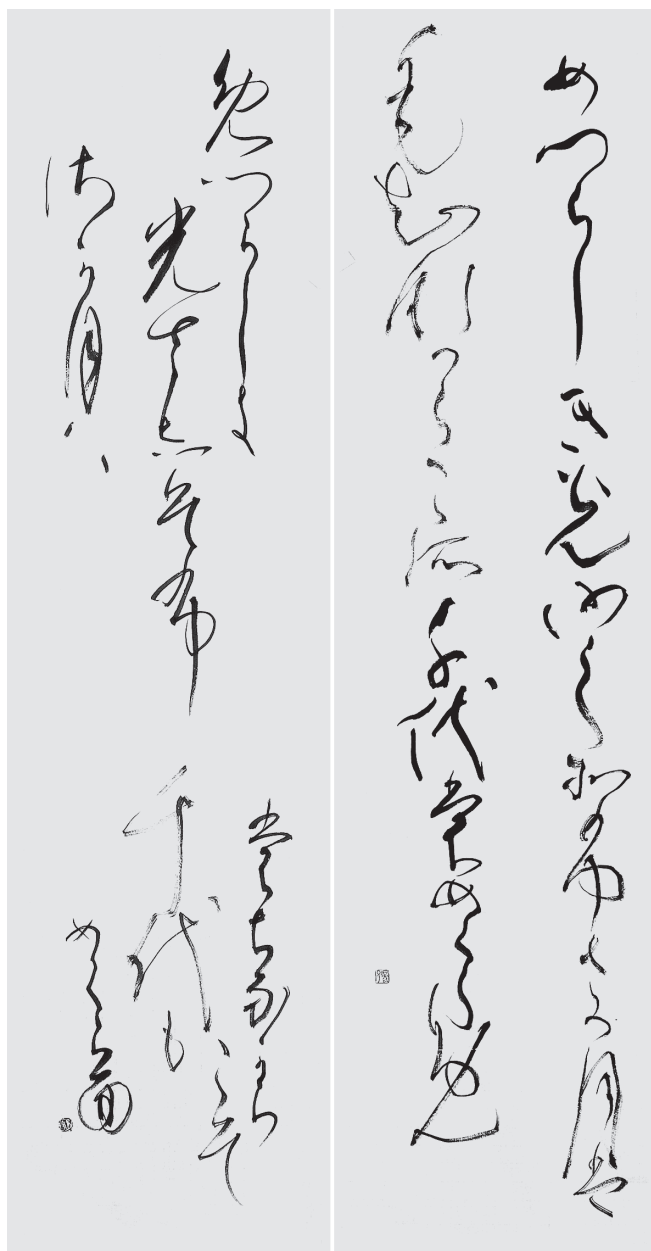
森 文子 推選
筆を弾ませリズムに乗った運筆から生まれた文字の姿は、表現過剰にならず余白も美しい。線にも深みがあり、味わい深い木簡の臨書作品に仕上げた。

富永 暉香 推選
澆刺とした運筆は木簡がもつ生命感に通じるものがある。線の切れ味は見事で、この直線を活かした表現は日頃の書の創作に活かされているのだと思う。

佐々木優子先生選評



笠原博子先生選評



谷野琢己 準七
原帖の線の抑揚を良く捉えた作品です。墨色の濃淡の変化が加われば更に伊勢集の美しい格調高い躍動感が表現出来ると思います。

木内英子 六段
深い呼吸で余裕を持って全体を見ながら書かれています。線質、変化に富み格調高い作品です。終句、「みざらん」をもう一呼吸ゆつくりと。

田村恵子 五段
紙面に食い込む強い線が魅力の作。ふくよかな弾力ある線は原帖の特徴を良く捉えています。更に自然に墨の濃淡が出るとより深みのある作に。

白波瀬朝子 師範
原帖の特色、ふくよかで弾力ある線質を見事に表現。「まつなれば」が渴筆で表現されると更に作品に深みが出るかと。墨の濃淡を大事に。

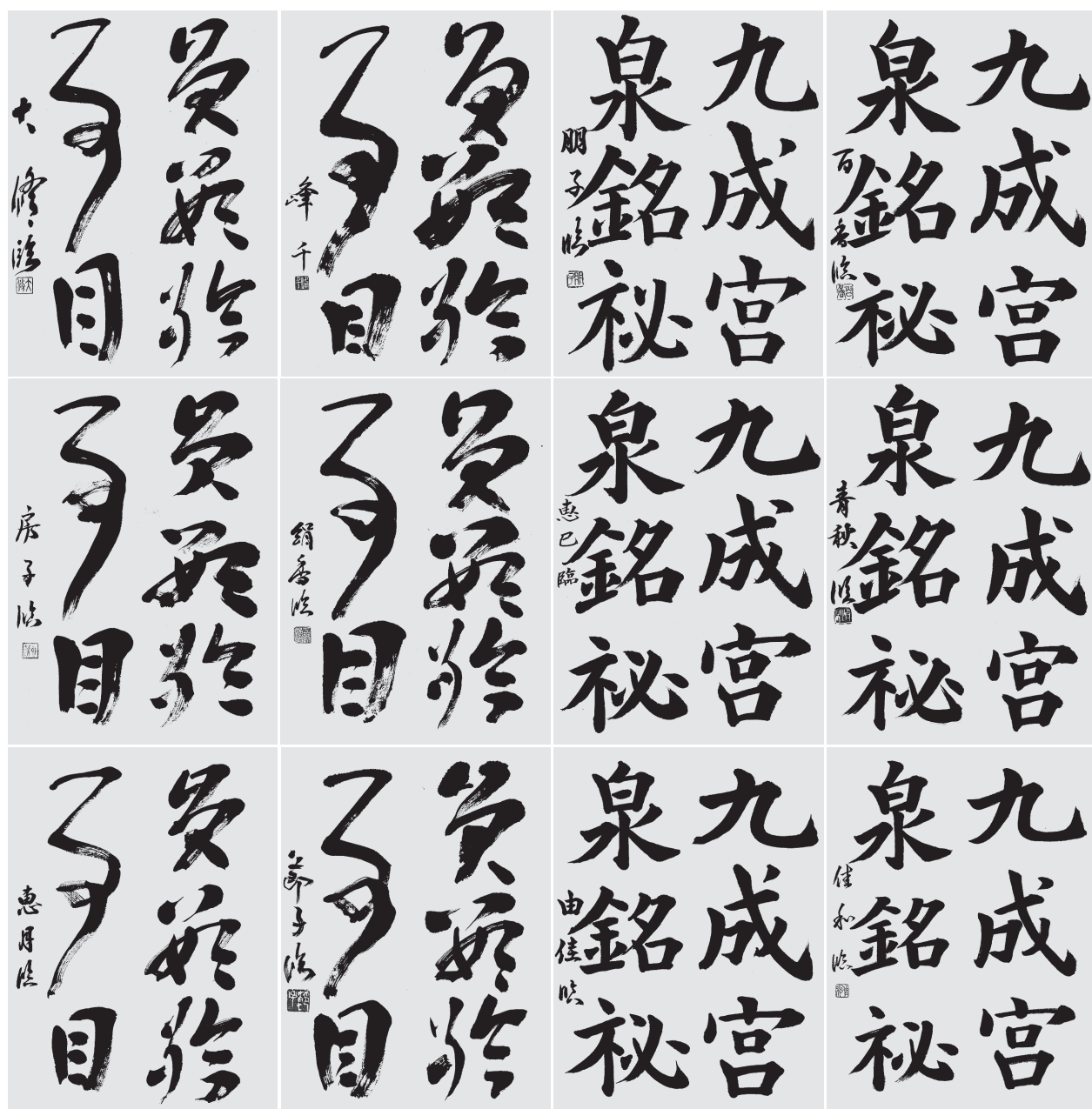
富永美祥 師範
運腕大きく伊勢集のリズムを体得し書かれています。後半やや幅拡がりになり強さが出すぎたかと。周りの景色を眺める余裕を。一呼吸が大事。

小松澤玉波 準師
やや硬さが見えますが、素直な運筆が美しい。今後は原帖のふくよかで弾力性ある線を更に学ばれ作品に躍動感を求めている下さい。

松田 きぬ子 推選
歌意を暢びやかな二段構成として表現されました。終句の「千代」が渴筆で大きく躍動し、最後にゆつくりと小さく想いを込めて「めぐらめ」と。心憎い纏めです。

松下晃子 推選
長鋒を巧みに使い、緩急のリズムも心地良い。終句も流れ良く纏まっています。墨色と相俟って、輝かしい光と明るさを感じる作品となりました。

加藤有鄰先生選評



大竹 百香 師範
九成宮の特徴を正確に捉え起筆、運筆も確かであり形体も安定しています。気負いもなく遠勢が効いており、堂々とした作品です。

山本 青秋 師範
適度な緊張感が作品全体を効果的に引き締めています。爽やかなる線条が美しい。軽重のあるリズムカルさも秀逸である。

橋本 佳和 八段
柔らかな筆の握りより運筆された線は温かく張りがあり、作り出された形体も美しく整っている。やや小ぶりだが上品で良い。

柳 朋子 六段
運筆において筆の立つ人で、伸びやかで全体がきりりと引き締まっている。原帖にも留意されこの古典を自己のものとされています。

石田 恵巳 四段
運腕が大きく、落筆高く、用筆も正確であり、形体が美しい。伸びやかで温かな運筆のリズム宜しく、温雅なる表現をしています。

杉本 由佳 三段
起筆、運筆、収筆と安定しており正確である。等角度、等間隔の要所を抑え整齊の美を醸し出しています。この運筆力はあなたの宝物です。

飯田 峰千 師範
筆の展開に見こたえがある。自在に筆を駆使して軽重遅速のバランスを見事に表現しています。私からするとやや速書さか。

工藤 絹香 八段
導かれる線の大胆さと明るさをもつて、深く豊かな線質を醸し、作品を表現している。運筆の省略が効いており爽やかな臨書作。

森田 節子 七段
木簡特有の素朴さに加えて、晋簡原帖の行意を上手く含ませて大なる表現をしました。温かみで大胆で高い落筆からの運筆が見事である。

瓜生 大修 準四
やや細身ながら軽快なタッチとリズムで木簡を表現しています。柔らかく温雅な線が魅力的です。前回に続き私との相性が良い方ですね。

進戸 房子 準四
筆先の扱いが見事で、簡素なところと悠然なところをうまく表現しています。大胆であり、立体感豊かな表現で、余白が美しく響き渡る臨書です。

但馬 恵月 準三
墨量にやや欠けるが、柔らかな筆の握りから、構え大きく紙面を捉え、リズムカルに運筆しています。開閉する筆の展開が自然で心地よい。